

平成29年度 第1学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ★身近なことについて、事柄の順序をふまえて話をしたり説明したりする力を育てたい。 ・身近なことや経験したことから話題を決め、必要な事柄を思い出して話すことができるようにする。 ・姿勢や口の形に気を付けて、はっきりとした発音で話すことができるようにする。 【工夫】 ☆補助資料の活用 ・児童が文章を書いたり、話題について話し合ったりする際の助けとなる手本を、書画カメラや電子黒板を用いて示した。 ☆相互の学び合い ・発表形態をペアからグループ、最後に全体とするよう段階をふむことで、徐々に発表に慣れることができるようにした。	B 教材の開発と工夫 ・児童が話したり聞いたりしたいという意欲をもつことができるテーマを工夫することで、発表に多様性をもたせ、楽しく学習することができるようにする。 F 評価 ・他者の発表にたいして、簡単な感想をもち、伝え合うことで、発表することの楽しさや充実感を感じられるようにする。
算数	【課題】 ★計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表す力を身に付けさせたい。 ・計算が出来るだけでなく、何故その計算になったのか、具体物を用いたり、言葉、数、式、図、表などを用いたりして、説明することができるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・実際にブロックを動かしたり、並べたりすることで感覚的に加法や減法の意味を理解できるようにした。 ☆ことばの吟味 ・よく考えられているところは認め、支援が必要などころには具体物を用いて指導を行った。	D 補助資料の活用 ・児童の思考に沿ったワークシートを作成する。また、具体物を使うときは、具体物を操作しやすいようにワークシートを工夫する。 E 相互の学び合いと手立て ・ペアで話し合う活動の時間を確保する。ペアで具体物を用いたり、言葉、式、図、表などを使ったりして説明する経験をさせ、よりよい説明の仕方を考えられるようにする。
生活	【課題】 ★具体的な活動や体験を通し、人や社会、自然と関わることの楽しさを味わうとともに、活動や体験からの気づきを、言葉や絵、動作等で表現する力を身に付けさせたい。 ・見付ける、比べる、たとえるなどの諸感覚を生かした体験が行えるようにする。 ・活動や体験を通して感じたことを、言葉、絵、動作等で表現し、気づきの質を高められるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・学校探検で見つけたものを絵に表現し、模造紙にまとめた。アサガオの観察では、前の観察のときからどこが変化したかに注目して観察した。	E 相互の学び合いと手立て ・ペア、グループでの意見交換を通して、自分の気付いたことを伝え合ったり、自分の気づきと似ているところや違うところを探したりし、自分の考えを深められるようにする。 ・発表に向けての練習時間に、ペアや小グループで互いの発表を見合うことにより、何をどのように伝えたらよいのかを考え、表現を工夫できるようにさせる。
体育	【課題】 ★体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体の基本的な動きができるようにしたい。 ・鬼遊びや、集団をつくる遊びなどを通して、体を動かすことの楽しさや心地よさを味わうことができるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・さまざまな体を動かす運動遊びを体験させ、楽しみながら運動することができるようにするとともに、実態に合わせて運動の難易度を変えることで、多様な動きを身に付けることができるようにした。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・運動の際、より具体的に目標をしめすことで、運動や遊びに対しての見通しをもちやすくし、意欲を高める。 E 相互の学び合い ・手本となるような児童をみて、自己の動きを振り返ったり、友達に助言をしたりするなどし、活動していく。